

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[twitter 日本語] [t_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T_Masuda_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

不思議なことには「裏」(真実)がある

ニューヨーク市場の暴落が止まらない。

昨夜 NY ダウは 21,000ドルを割り込み遂に 20,188ドル、高値から 9,100ドル迄下げた。下げ幅は実に 31%である。

私は以前から 2月10日を「マジックデー」、「調整初日」とし、それまでは大きく下げればリバウンドしてきたが、2月10日からは下がりっぱなしになると述べた。それにしても、この下げ方は普通ではない。何か「仕掛け」がある。

FRBは何故3月18日のFOMCを待たず3月3日に、しかも通常0.25%の倍の0.5%の利下げを敢行したのか。3月13日トランプ大統領は国家非常事態宣言を発表、5兆円以上の新型コロナウイルス対策として所得税年内免除やエネルギー産業等トランプ支持基盤支援策を打ち出した。FRBは3月15日(日曜日)臨時FOMCを開いて手持ちの1.25%を使い果たし政策金利をゼロパーセントに誘導することを決めた。株式市場安定化の為に金融、財政面からあらゆる手段を駆使しているが株価のほうは下がるばかりである。

株価にとって重要なのは市場の資金量、資金コスト(政策金利)、経済需要創造である。FRB、欧州中央銀行、日銀も出来る限りの緩和を行い、政策金利をゼロ又はマイナスにしているところへ、トランプは非常事態宣言で財政出動が容易に出来るようにした。

株式市場は必ずしも実体経済を反映せず、本質的には実体経済の情報を材料にしてプレーする投機市場である。従って今の暴落が止まらない現象は投機市場として不自然である。株価が上がるを得ない状態にしておいて、価格操作で暴落を演出している帰来がある。FRBのFOMC前の重要政策発表は市場に故意にリセッションの不安を与え、トランプの国家非常事態宣言は、新型コロナウイルスをまるで戦争のような脅威に仕立てる意図が感じられる。

トランプは単なるインフルエンザに過ぎない新型コロナウイルスを針小棒大に世界を不安の坩堝に陥れ、アメリカのみならず欧州、アジアを初めそれぞれの国家権力増大化を計っている。特にトランプは、抵抗勢力に悩まされて後退気味であった自らの使命、戦後体制の破壊(スクラップ)に思い切って邁進出来るようになった。中央銀行であるFRB、ECB、日銀も手持ちの玉を使い果たしトランプが誘導するリセッションに打つ手はない。今まで手が出せなかった中央銀行を国家が制するチャンスが生まれた。新型コロナウイルスは人工細菌であることが分かったが、トランプの現体制スクラップ化に貢献していることだけは間違いない。

戦後の政治・経済秩序のスクラップに新型コロナウイルスが貢献したことが後の歴史本に書かれるだろう。

大好評発売中！！

増田俊男の小冊子 Vol.114『世界が変わる 2020年』

現在増田俊男の小冊子 Vol.114 を好評発売中です。内容は、第1章 戦後は終わった(アメリカ時代終焉)・第2章 思想が変わる、制度(国体)が変わる・第3章 通貨が変わる、市場が変わる・第4章 政治が変わる、指導者が変わる・第5章 社会が変わる、生活が変わる・おわりに 持つべき資産、捨てるべき資産です。1冊 4,800円(別途税・送料等)。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社(FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>)まで。



<新型コロナウイルス関連情報>

マスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 オンリーワン事業部でベストセラー新型コロナウイルス防止のソリューションウォーター(次亜塩素酸水)は只今注文殺到中！
発送には通常より少しお時間を頂く場合もありますが出来る限り迅速にお届け致しますのでご理解のほど宜しくお願い致します。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社(TEL: 03-3956-8888、FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/SolutionWater/index.html>)まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社(FAX: 03-3956-1313)までお知らせ下さい。